

## 寄贈図書リスト

ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた宇宙の絶景，縣 秀彦  
監修，160頁，B5判変形，2,400円+税，洋泉社

宇宙論の物理（上，下），松原隆彦，上340頁 下  
316頁，A5判，上下ともに3,800円+税，東京大  
学出版会

宇宙はどうして始まったのか，松原隆彦，270頁，新  
書判，760円+税，光文社

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切，翌月に発行の「天文月報」に掲載  
いたします。校正をお願いしておりますので，締切日よりなるべく早め  
にお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお，原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

## 人事公募

標準書式：なるべく，以下の項目に従ってご投稿くだ  
さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など），2. (1) 所属部門・  
所属講座，(2) 勤務地，3. 専門分野，4. 職務内容・担  
当科目，5. (1) 着任時期，(2) 任期，6. 応募資格，7.  
提出書類，8. 応募締切・受付期間，9. (1) 提出先，  
(2) 問合せ先，10. 応募上の注意，11. その他（待遇  
など）

## 東京大学宇宙線研究所准教授

1. 准教授・1名
2. (1) 附属神岡宇宙素粒子研究施設  
(2) 岐阜県飛騨市
- 3,4. スーパーカミオカンデによる宇宙・素粒子研  
究を主導的に推進できる方。  
特に超新星背景ニュートリノ研究を推進する。  
施設の将来計画，管理・運営にも参画する。
5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) 5年，再任可
6. なし
7. 応募者は以下の(1)から(5)までの書類を，Eメ  
イルに添付（電子ファイル）で提出してくださ  
い。(6)の意見書・推薦書は，作成者から直接E  
メールに添付で応募締切日までに提出してくださ  
い。応募書類・意見書・推薦書のファイル形式は  
pdfとします。Eメールによる提出に対しては，  
受信した旨の返信をしますので，必ず当方からの  
返信の有無を確認してください。  
(1) 履歴書，(2) 研究歴（A4判で3頁以内），(3)  
業績リスト（論文リスト，研究発表リスト等），

および主要論文別刷（5編以内）。提出する論文  
については論文リストに印を付け，一目でわかる  
ようにすること。(4) 着任可能時期，(5) 着任  
後の研究計画（A4判で3頁以内），(6) 意見書ま  
たは推薦書2通

8. 平成27年4月27日（月）17時必着
9. (1) Eメール [application\\_at\\_icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp)  
（メールを送信する際は\_at\_を@に直してく  
ださい）  
(2) 東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研  
究施設 長 中畑雅行  
Tel: 0578-85-9603  
e-mail: [nakahata\\_at\\_suketto.icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:nakahata_at_suketto.icrr.u-tokyo.ac.jp)  
（\_at\_を@で置き換えてください。）
10. 応募書類の提出に対しては，受信した旨の返信を  
いたしますので，必ず当方からの返信の有無を確  
認してください。
11. 選考：選考委員会による書類選考（第一次審査）  
を行い，最終選考は，面接によります。面接を受  
けていただく方には詳細を連絡します。  
「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基  
づき，女性の応募を歓迎します。

## 東京大学宇宙線研究所助教

1. 助教・1名
2. (1) 重力波推進室神岡分室  
(2) 岐阜県飛騨市神岡町。ただし宇宙線研究所  
（柏）において装置の試験を行う必要がある  
場合は，相談のうえ，最長で平成27年度末  
まで柏勤務とする場合があります。
- 3,4. 大型低温重力波望遠鏡（KAGRA）プロジェ  
クトにおいて現重力波推進室メンバーと協力して

神岡にて低温鏡を用いたKAGRAの重要な装置部分の建設・調整に責任をもってあたり、装置完成後はKAGRAを共同利用施設として運用し、重力波のサイエンスの推進に貢献できる方を求めます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) なし
6. 雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みの者。
7. 以下(1)から(6)までの書類を、Eメールに添付(電子ファイル)で提出してください。意見書は、作成者から直接Eメールで応募締切日までに提出してください。応募書類・意見書のファイル形式はpdfとします。Eメールによる提出に対しては、受信した旨の返信をしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。  
(1) 履歴書(市販の様式相当、博士号の有無・取得見込み、Eメールアドレスを必ず記入してください。)、(2) 研究歴(A4判3枚以内)、(3) 業績リスト(論文リスト、口頭での発表を含めた研究発表リスト等)、および主要論文別刷(3編以内)。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにしてください。(4) 着任可能時期、(5) 着任後の研究計画(A4判3枚以内)、(6) 意見書または推薦書2通
8. 平成27年4月27日(月)17時必着
9. (1) e-mail: application\_at\_icrr.u-tokyo.ac.jp  
(\_at\_を@で置き換えてください。)  
(2) 宇宙線研究所長 梶田隆章  
e-mail: kajita\_at\_icrr.u-tokyo.ac.jp  
(\_at\_を@で置き換えてください。)  
Tel: 04-7136-3100
10. 応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。
11. 選考: 選考委員会による書類選考(第一次審査)を行い、最終選考は、面接によります。面接を受けていただく方には詳細を連絡します。「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

## 国立天文台 SOLAR-C 準備室 准教授

1. 准教授 1名
2. (1) 国立天文台SOLAR-C準備室プロジェクト  
(2) 三鷹
3. 太陽物理学および飛翔体天文学

4. Solar-C準備室では、飛翔体を用いる太陽観測装置の開発・製作や飛翔実験を行いつつ、次期大型太陽観測衛星(Solar-C)計画の実現に向け、搭載機器の検討、一部観測装置の開発実験等を広範な国際協力の下で実施している。これらの研究活動を推進する准教授1名を公募する。今後、飛翔体太陽物理学が進むべき方向を把握し、Solar-C計画に代表される挑戦的な飛翔体太陽観測プログラムを、その中核として推進する資質をもった人材を求める。

5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) なし
6. 博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績の他に、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください)  
(2) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し、共著の場合は役割分担を記すこと)  
(3) 主要論文のコピー(3編まで)  
(4) 職務に対する抱負と計画(必要があれば研究計画も記入してください)  
(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先  
(6) 推薦書(ある場合のみ。ただし推薦書は推薦者から直接評価書受付e-mailアドレスへ提出するよう依頼し、推薦者の氏名・連絡先を記載すること)
8. 2015年4月30日(木)17時必着(日本時間)
9. (1) 応募書類は: appl-solar-c-associate201504@nao.ac.jpへ、推薦書は推薦者から直接 refe-solar-c-associate201504@nao.ac.jpへメール添付で送付すること。  
メール件名は「SOLAR-C准教授応募」としてください。  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台ひので科学プロジェクト長 渡邊鉄哉  
e-mail: watanabe@uvlab.mtk.nao.ac.jp  
メール件名は「SOLAR-C准教授公募への質問」としてください。
10. すべての応募書類(上記7の(1)-(5))はPDFファイルに変換し、メールに添付すること。  
・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(メール1通につき最大10MB程度まで)。

- ・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールを送るので、それが届かない場合には、[appl-solar-c-prof-associate201504@nao.ac.jp](mailto:appl-solar-c-prof-associate201504@nao.ac.jp)へお問い合わせください。

11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

## 国立天文台年俸制特任教員 (チリ観測所 ARC サポート・アストロノマー)

1. 特任助教 1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所  
(2) 東京都三鷹市
3. 電波天文学
4. 東アジアALMA地域センター (ARC) では、ALMAによる科学運用を強力に推進しています。今回募集する特任助教は、ARCのサポート・アストロノマーとして、ALMAを用いた科学成果を生み出すために本格運用に向けたサイエンスプロジェクトを立案・推進し、国際的に競争力のあるサイエンスを展開しつつ、ARCの業務を担当するものです。職務の詳細等については、国立天文台ホームページ<http://www.nao.ac.jp/job-vacancy.html>に掲載の公募案内を必ず参照してください。
5. (1) 2015年6月1日 (2) 原則として採用日より5年間 (更新なし)。年度ごとに業績評価を受けていただきます。(着任前6カ月以内に自然科学研究機構職員であった場合の任期は、平成25年4月1日からの通算雇用期間が5年を超えないように設定されます。)
6. 職務に必要な、以下の知識と経験を有すること。
  - ・天文学の基本的な知識 (大学修士卒以上のレベル) を有すること。
  - ・電波観測装置を用いた観測的研究の推進に意欲的に取り組めること。
  - ・米欧の外国人との共同作業ができる程度の英語力を有すること。
  - ・東アジアのARCおよび他のARCスタッフと協力・協調して、科学評価活動およびユーザー支援業務に意欲的に取り組めること。
  - ・ALMAのデータ (アーカイブを含む) の解析経験があることが望ましい。
7. 以下の書類 (英文) をpdf形式でメールに添付し

て下記提出先に送付のこと。

- (1) カバーレター, (2) 履歴書 (研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください), (3) 研究論文リスト (査読論文とそれを区別し、共著の場合は役割分担を記すこと), (4) 主要論文3編のpdfコピー, (5) 職務に対する抱負と計画 (必要があれば研究計画も記入), (6) 本人について意見を述べられる方 (複数) の氏名と連絡先, (7) 速やかに連絡がとれる連絡先 (e-mailアドレス, 電話番号)。
8. 2015年4月1日 (金) 17時 (日本時間) 必着
9. (1) 国立天文台 チリ観測所長 長谷川哲夫  
e-mail (応募専用): [chile.application\\_AT\\_alma.mtk.nao.ac.jp](mailto:chile.application_AT_alma.mtk.nao.ac.jp)  
(`_AT_`を@で置き換えてください。)  
メールのSubject欄に「特任教員 (ARCサポート・アストロノマー) 応募」と明記のこと。
- (2) 国立天文台 チリ観測所 ALMA地域センター・マネジャー 立松健一  
e-mail: [k.tatematsu\\_AT\\_nao.ac.jp](mailto:k.tatematsu_AT_nao.ac.jp)  
(`_AT_`を@で置き換えてください。)  
メールのSubject欄に「特任教員 (ARCサポート・アストロノマー) の件」と明記のこと。
10. ・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください (メール一通最大10 MB程度まで)。  
・応募書類を受理した場合、確認の電子メールを返信します。応募書類を送っても2日以内 (休日を除く) に返信がない場合は、[chile.inquiry@alma.mtk.nao.ac.jp](mailto:chile.inquiry@alma.mtk.nao.ac.jp)までお問い合わせください。
11. ・国立天文台運営会議の審査を経て採用が決定されます。  
・選考にあたっては面接を行う場合があります。  
・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません。  
・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

## 国立天文台研究教育職員（理論研究部）

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台理論研究部  
(2) 東京都三鷹市
3. 天文学の理論的研究
4. 共同利用機関の教員として全国の理論研究者との連携を保ちつつ、観測天文学も視野に入れて、理論天文学の研究を推進する研究者を求めます。  
(A) 観測天文学と理論天文学をつなぐような研究、先端的シミュレーション研究など研究部が推進する研究を自ら行うだけでなく、我が国の理論天文学の推進に尽力でき、(B) 研究部の運営（総研大天文学専攻における教育を含みます）にも貢献できる方を求めます。シミュレーションを用いた理論研究を行っている場合は、天文シミュレーションプロジェクトに併任することで、共同利用スーパーコンピュータシステムの運用とそれを用いた研究の推進も期待します。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期  
(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動させることがあります）  
(3) 年俸制（年額の12分の1を月額支給）
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書（e-mailアドレス含む）、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと、主要論文5編以内に○印を附すこと）、(4) 着任後の研究計画と抱負（職務内容に関する抱負を含む）、(5) 意見を求めることのできる2名の氏名とその連絡先（意見書は1次選考後直接依頼します）
8. 応募は日本時間2015年4月1日（水）から4月30日（木）までの間に行ってください。
9. (1) 下記URLの応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必要書類のアップロードを行ってください。 <https://application.nao.ac.jp/dta2015/>  
(2) 国立天文台理論研究部主任 富阪幸治  
〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台  
e-mail: jokyoy\_AT\_th.nao.ac.jp（\_AT\_を@で置き換えてください。）
10. 応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合は [appl-dta2015\\_AT\\_nao.ac.jp](mailto:appl-dta2015_AT_nao.ac.jp) へお問い合わせください

（\_AT\_を@で置き換えてください。）。面接を行う場合があります。その際の交通費、宿泊費は応募者の負担とさせていただきます。

11. 選考は国立天文台運営会議で行います。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。

## 国立天文台研究教育職員 (天文情報センター准教授)

1. 准教授1名
2. (1) 国立天文台天文情報センター  
(2) 東京都三鷹市
3. 天文学に関する広報
4. 国立天文台では、天文情報センターを中心として、天文学および関連分野の研究成果を世界に発信するとともに、一般市民への天文学の普及活動を推進しています。今回公募する准教授には、同センターの中核を担うとともに、広報室長として、同室が遂行する記者会見をはじめとするマスコミへの発信および対応、国立天文台ホームページの管理運営など広く広報活動全般を指揮監督していただける人物を望みます。  
なお、応募者には、(1) 天文学および関連する科学に関する広範な知識、(2) 科学的な広報に関する実務経験、(3) マスコミおよび国立天文台内外の広報担当者との円滑なコミュニケーション能力、および(4) 諸外国のマスコミ関係者と科学的議論を交わせるレベルの英会話能力を有することを強く期待します。
5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) なし
6. (1) 広報の実務経験を有すること。(2) 博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の学術的資格を有すること。
7. (1) 履歴書（写真添付）、(2) 学歴（研究歴を含める）、(3) 職歴（特に広報の実務については詳細な活動内容を記すこと）、(4) 広報関連の活動報告・著作物など活動成果リスト（研究成果の場合は、査読論文とその他を区別すること。また、共同で行った活動の場合は役割分担を明確に記述すること）、(5) 主要な活動成果（研究論文の場合は査読論文に限る）の写し3点、(6) 職務に対する抱負と現在の広報室の活動を踏まえた今後5年間の行動計画、(7) 本人について意見を述べ

られる方(複数)の氏名および連絡先, (8) 確実にかつ迅速に連絡が取れる本人の連絡先(電子メールアドレスもしくは電話番号)

8. 2015年4月30日(木) 17時必着(日本時間)
9. (1) 応募書類はapply-prc-associate20150430\_AT\_ nao.ac.jp (AT\_を@で置き換える。以下同様)へメール添付で送付してください。メール件名は「天文情報センター准教授応募」とすること。
- (2) 181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台 天文情報センター長  
福島登志夫  
e-mail: Toshio.Fukushima\_AT\_ nao.ac.jp  
メール件名は「天文情報センター准教授公募への質問」としてください。
10. ・すべての応募書類(上記7.の(1)-(8))はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。  
・PDFファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(メール1通につき最大10MB程度まで)。  
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には、apply-prc-associate20150430\_AT\_ nao.ac.jpへお問い合わせください。
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/>をご覧ください。

## 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 女性または外国人を対象とする教育職

1. 女性または外国人である候補者を対象に、准教授(教育職)または助教(教育職)を、1ないし2名公募する。
2. (1) 宇宙科学研究所の5研究系のいずれか  
(2) JAXA相模原キャンパス、または、つくばキャンパス
3. 宇宙科学研究所には、宇宙物理学研究系、太陽系科学研究系、宇宙飛翔工学研究系、宇宙機応用工学研究系、学際科学研究系の五つの研究系があり、それぞれ、宇宙科学の研究を推進しています。ここで宇宙科学研究とは、大気の上層部あるいは大気外に出ることで実現可能となる科学研究領域、および、そのような研究活動を可能とするための研究、と定義します。したがって、宇宙空間に出ることで可能となる理学的研究・工学的研究、さらにこれらを可能とするための地上研究を含む総合的な研究等が含まれます。
4. 宇宙科学およびその周辺領域において優れた研究成果を有し、それを踏まえて、宇宙科学に関する学術研究に優れた成果を創出していただくとともに、宇宙科学研究の重要な実現手段である宇宙科学プロジェクトにもさまざまな形でかかわり、積極的に貢献していただく方を求めます。候補者が希望する分野が、本研究所において既存分野である必要はなく、それを展開することが宇宙科学研究所に新しい地平線をもたらす状況も歓迎します。さらに、当研究所の大学共同利用の役割を理解し、大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、大学院生の教育・指導にも熱心に取り組んでいただける方を求めます。またJAXA内の各種活動に積極的に参加し、専門研究能力を生かして研究開発やプロジェクトに貢献できる意欲あふれる人材を求めます。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期  
(2) 任期なし。63歳定年制
6. 博士号を有すること。ただし、助教への応募の場合は、2015年3月末取得見込みを含む。
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リストと主要論文の別刷, (4) これまでの研究概要, (5) 今後の研究計画と宇宙科学プロジェクトへの貢献の抱負, (6) 外部研究資金獲得実績(外部資金の種類, 金額, 研究代表/分担を明記すること), (7) 他薦の場合は推薦書2通, 自薦の場合は本人について意見を述べることでできる方2名の氏名と所属, 連絡先(電話番号, e-mailアドレス), (8) 准教授あるいは助教のどちらの職を希望するかを、研究計画の中に明記すること。
8. 2015年5月29日(金) 必着
9. (1) 〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1  
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所科学推進部人事係  
(2) 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所  
研究総主幹 満田和久  
Tel: 050-3362-3621  
e-mail: mitsuda.kazuhisa@jaxa.jp
10. 封筒の表に「女性または外国人教育職公募応募書類在中」と朱書きして、書留便にて郵送してください。応募書類は返却いたしません。また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。

11. 選考は、宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。

### 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

### 2015年東アジア中核天文台連合（East Asian Core Observatories Association (EACOA)）

#### フェロー

1. 2014年11月（第107巻第11号）
2. Dr. Ke-Jung Chen（カリフォルニア大学サンタクルーズ）  
Dr. Xiaohu Li（ライデン天文台、ライデン大学）
3. 兩人共2015年半ば

### 賞の推薦

### 2015年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「進歩賞」候補者の募集

下記のように「三宅賞」と「進歩賞」の候補者募集案内がありました。

日本天文学会推薦を希望される方は申請書類をお送りください。

送付していただく書類（メールの添付ファイルでお願いします）

推薦書：ワードファイルでお願いします

- ・主な論文：pdfでお願いします
- ・送り先：jimu@asj.or.jp
- ・日本天文学会の締め切りは、2015年7月31日必着です。

\*\*\*\*\* 募集案内 \*\*\*\*\*

1. 三宅賞  
対象：地球化学に顕著な業績を上げた研究者  
表彰内容：賞状、副賞として賞牌および賞金30万円、毎年1名
2. 進歩賞  
対象：1975年4月2日以降に生まれた方で、地球化学の進歩に優れた業績を上げ、将来の発展が期待される研究者  
表彰内容：賞状および賞金10万円、毎年1～2名

3. 応募方法：地球化学研究協会のホームページからダウンロードした申請書に、略歴・推薦理由・研究業績などを記入し、主な論文 三宅賞：10編程度、進歩賞：2編程度を添えて、下記のあて先へ送付してください。応募書類等は三宅賞および進歩賞選考のためにのみ用いられます。

4. 締切日：2015年8月31日（必着）

地球化学研究協会ホームページ：<http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~e881147/Geochem/index.html>  
応募書類送付先：〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ

（公益信託）地球化学研究基金 伊藤幸雄

問合せ：電子メールで下記アドレスへお願いします。

e-mail: eitaro1939@yahoo.co.jp または  
hirose45037@mail2.accsnet.ne.jp

### 研究会・集会案内

### 国立天文台野辺山宇宙電波観測所「電波天文観測実習」の参加者募集

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、45 m電波望遠鏡を使った「電波天文観測実習」を行います（総合研究大学院大学「夏の体験入学」）。当観測所は、45 m望遠鏡、10 mサブミリ波望遠鏡（南米チリ）を用いて多数の星間分子の発見、原始惑星系ガス円盤の検出、銀河中心にある巨大質量ブラックホールの発見など数多くの重要な研究成果を上げています。この「電波天文観測実習」は、天文学に関心をもつ大学生の皆さんに研究の最前線で活躍中の45 m望遠鏡を使った観測実習を通して、電波天文学の実際に触れていただくのがねらいです。参加者には普段研究者が行っている45 m望遠鏡の操作、データ取得・解析、結果のまとめをしていただきます。特に専門知識は必要ありませんが、大学で物理実験を経験していることが望ましいです。関心をお持ちの多くの方のご応募をお待ちしています。

1. 開催日程：2015年6月1日（月）13:30～6月5日（金）11:30（4泊5日）
2. 場所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所（JR小海線野辺山駅から徒歩40分）
3. 定員：8名程度
4. 対象：大学の理科系学部（教育学部の理科系も含む）

む)に属する学生(1~4年生)

5. 費用: 旅費・滞在費がサポートされる可能性があります
6. 応募方法: 住所, 氏名(ふりがな), 所属大学および学部・学科, 学年, 生年月日, 年齢, 性別, 電話番号, e-mailアドレス(持っている場合)を明記の上, 以下の(1)-(4)に回答し, **4月20日(月)必着**で下記の応募先まで送付してください. なお, 送付された資料は返送いたしません.
  - (1) 大学で物理実験の経験がありますか?
  - (2) (1)で「はい」と回答された場合, 一番印象に残った実験は何ですか?どのよう点で印象に残ったのですか?
  - (3) あなたが持っている天文学への想い・イメージについて何でも結構ですでお書きください(600字以内)
  - (4) 実習に参加希望の理由は何ですか?(600字以内)
7. 選考結果: 5月初旬頃, 郵便で発送  
※6の住所以外への発送を希望する場合は発送先を明記のこと
8. 応募先・お問合せ先  
〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2  
国立天文台野辺山宇宙電波観測所「観測実習係」  
※封筒には「観測実習応募書類在中」と朱書してください  
TEL: 0267-98-4332  
ウェブサイト <http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/misc/45school.html>

## 茨城大学宇宙科学教育研究センター／国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局第6回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市にまたがってある32mパラボラアンテナ2基は, 衛星通信アンテナから電波望遠鏡への改造がなされ, 日本・東アジアVLBIの主要施設として国際的にも優れた天文学研究の成果を上げ始めました. 子どもたちを含め, 多くの地域のみなさんに, 宇宙の科学に親しんでいただきたいと思います. 今年度も公開天文台を開催することとなりました.

日 時: 2015年4月19日(日) 11~15時(雨天決行)

場 所: 茨城県高萩市石滝627-1

(さくら宇宙公園内)

茨城大学 宇宙科学教育研究センター

国立天文台 水沢 VLBI 観測所茨城観測局

主 催: 茨城大学 共催: 国立天文台

後 援: 高萩市教育委員会, 高萩市観光協会, 日立市教育委員会, 日立市観光協会

協 賛: 茨城県北ジオパーク推進協議会

内 容: パラボラアンテナ施設見学,

講演「天の川銀河とつながる人間」

(亀谷 収 [国立天文台水沢 VLBI 観測所助教]) (13:30-15:00)

受 付: 施設見学は開催時間中随時受付. 講演会は先着100名13:00より受付.

参加料: 無料

アクセス: [1] 鉄道: JR常磐線高萩駅下車, (1) 会場まで徒歩 約30分, (2) バス利用: 高萩駅発いぶき台団地行, 明秀学園高萩キャンパス前(約8分)下車, 徒歩約10分

[2] 乗用車: 常磐自動車道 高萩インターもしくは日立北インターより高萩市街方面約15分9km, 明秀学園高萩キャンパス前を山側住宅街に曲がり1km先

駐車場: 無料 普通車約300台駐車可

注 意: アンテナ見学は動きやすい服装, 靴で参加ください.

問合せ: 茨城大学理学部総務係

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

Tel: 029-228-8334

Fax: 029-228-8409

e-mail: [infoast@ml.ibaraki.ac.jp](mailto:infoast@ml.ibaraki.ac.jp)

URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

## 会 務 案 内

### 公益社団法人日本天文学会

#### 2015年度(2015年4月1日~2016年3月31日)事業計画書と予算書

2015年1月25日(日)に開催された代議員総会で2015年度の事業計画書と予算書が承認されましたのでお知らせいたします. 事業計画書と予算書は電子版で天文学会ホームページ上(<http://www.asj.or.jp>)で公開しております. 書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので, 学会事務所までご連絡ください.

### 公益社団法人日本天文学会 2015年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりで, 欧文研究報告,

天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、各種委員会活動、全国同時七夕講演会、各賞の授与、助成金、後援事業に関する事業を行う予定です。

また、2016年度は代議員選挙（2016年度～2019年度の4年任期、半数改選）を行います。

### 公益社団法人日本天文学会 2015 年度予算書

昨年1月より欧文研究報告の制作販売を外部委託し、また近年天文月報の掲載内容を整理したことによって、発行経費が抑えられ学会の収支が改善しまし

た。これを受けすでに月報3月号でお知らせしましたとおり、来年度は正会員（学生）の年会費を10,000円に値下げすることとなりました。

年会における非会員講演回数の制限により年会登録料収益は150万円の減となり、一方、学生の正会員100名増（うち10月以降入会50名）を見込んでいます。

キャリア支援事業を新規に始めるにあたり20万円を計上しています。その他はおおむね例年どおりの予算になっています。

（文責 庶務理事：中村文隆，  
会計理事：熊谷紫麻見）

### 事業別予算書内訳表

2015年4月1日から2016年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会

（単位：円）

科 目	公益目的事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	一般事業計
一般正味財産経常収益計	20,121,630	30,588,075	3,220,000	7,720,000	330,000	61,979,705
一般正味財産経常費用計	8,157,680	35,107,520	14,730,000	9,200,000	4,707,443	71,902,643
一般正味財産当期経常増減額	11,963,950	△ 4,519,445	△ 11,510,000	△ 1,480,000	△ 4,377,443	△ 9,922,938
指定正味財産経常収益計	0	0	0	0	0	0
指定正味財産経常費用計	0	0	0	0	0	0
指定正味財産当期経常増減額	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業					
	学術交流費事業	内地留学事業	研究奨励賞事業	早川基金事業	林賞事業	助成事業計
一般正味財産経常収益計	1,411,100	251,400	463,961	4,525,000	593,750	7,245,211
一般正味財産経常費用計	1,406,000	251,400	463,961	4,525,000	593,750	7,240,111
一般正味財産当期経常増減額	5,100	0	0	0	0	5,100
指定正味財産経常収益計	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
指定正味財産経常費用計	0	251,060	463,661	4,513,000	592,000	5,819,721
指定正味財産当期経常増減額	0	△ 251,060	△ 463,661	△ 3,513,000	△ 592,000	△ 4,819,721

科 目	法人会計	内部取引 消去	合 計
一般正味財産経常収益計	20,284,700	0	89,509,616
一般正味財産経常費用計	10,169,120	0	89,311,874
一般正味財産当期経常増減額	10,115,580	0	197,742
指定正味財産経常収益計	0	0	1,000,000
指定正味財産経常費用計	0	0	5,819,721
指定正味財産当期経常増減額	0	0	△ 4,819,721

（注）欧文事業 OUP の事業期間は1月～12月

## 2014年度日本天文学会各賞について

2014年度日本天文学会各賞は、2015年1月25日の代議員総会で次のように決定しましたのでご報告いたします。

### ◇天体発見賞 (3氏1グループ (2氏) 14件)

- ・板垣公一 (いたがき こういち) 氏 9件  
超新星2014Fの発見, 超新星2014Gの発見, 超新星2014ajの発見, 超新星2014cxの発見, 超新星2014dgの発見, 超新星2014dmの発見, 超新星2014dtの発見, IC 2014の超新星発見, 超新星2014efの発見
- ・古山 茂 (ふるやま しげる) 氏 1件  
新星いて座V5666の発見
- ・西山浩一 (にしやま こういち) 氏, 梶島富士夫 (かばしま ふじお) 氏3件  
新星ケフェウス座V962の発見, さそり座新星2014の発見, 新星はくちょう座V2659の発見
- ・西村健市 (にしむら けんいち) 氏 1件  
超新星2014cyの発見

### ◇天体発見功労賞 1氏1件

- ・板垣公一 (いたがき こういち) 氏 1件  
超新星2014aiの独立発見

### ◇天文功労賞

#### 長期的な業績 (1件)

- ・宮坂正大 (みやさか せいだい) 氏  
「長期にわたる太陽系内小天体の位置観測と物理観測の指導普及活動, プローアマ協調における研究観測」

#### 短期的な業績 (3氏3件)

- ・下田 力 (しもだ ちから) 氏  
「4月やぎ座 $\alpha$ 流星群の発見」
- ・西村栄男 (にしむら ひでお) 氏  
「新しいPeriod Bouncer候補矮新星PNV J06000985 + 1426152の発見」
- ・佐藤英貴 (さとう ひでたか) 氏  
「長く見失われていた72P/デニング・藤川彗星の回帰検出」

### ◇林 忠四郎賞 (1氏)

- ・小松英一郎 (こまつ えいいちろう) 氏: マックスプランク天体物理学研究所所長  
研究の表題: 「宇宙マイクロ波背景放射に基づく精密宇宙論の開拓」  
Precision Cosmology based on the Cosmic Microwave Background

### ◇欧文研究報告論文賞 (2編)

- ・論文題目: Fundamental Parameters of the Milky Way Galaxy Based on VLBI Astrometry  
著者: Mareki Honma et al.  
出版年等: Vol. 64 (2012), Article No. 136
- ・論文題目: Suzaku Observations of Abell 1795: Cluster Emission to  $r_{200}$   
著者: Marshall W. Bautz et al.  
出版年等: Vol. 61 (2009), pp. 1117-1133

### ◇研究奨励賞 (3氏)

- ・井上剛志 (いのうえ つよし) 氏: 国立天文台理論研究部・助教  
研究の表題: 「多相星間媒質のダイナミクスと進化に関する理論的研究」
- ・田中孝明 (たなか たかあき) 氏: 京都大学大学院理学研究科物理学第二教室・助教  
研究の表題: 「フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡を用いたGeV帯域超新星残骸における宇宙線加速の研究」
- ・村瀬孔大 (むらせ こうた) 氏: ペンシルバニア州立大学物理学科・助教  
研究の表題: 「ニュートリノとガンマ線放射に関する高エネルギー宇宙現象の理論的研究」

## 天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

### ■ログイン法

login: geppou    passwd: toukou

### ■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまず必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

### ■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、[toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)までメールでご投稿ください。

### ■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は

[yousuke.utsumi@nao.ac.jp](mailto:yousuke.utsumi@nao.ac.jp)まで、

またその他のご質問は[toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)までお願いします。

(天文月報編集長)

## 天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆者のために日本天文学会HPに「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご用意いたしました。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtex/あるいは文字コードに応じてu\_Tex2/, MSWordで執筆される方はword/をご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol98**(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市来浄與, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成27年3月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2015年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)